

お知らせ

記者発表資料

令和4年10月3日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

「建設技術フォーラム 2022in ちゅうごく」開催 ～リアルとオンラインのハイブリッド方式で開催します～

建設技術フォーラムは、中国地方の社会資本整備を支える新技術について必要な情報交換を行い開発・活用・普及促進を図ることを目的として開催しています。

今年度は、新型コロナ対策を実施したリアルとオンラインの ハイブリッド方式で開催することとしました。※令和3年度はオンライン、令和2年度は中止、令和元年度はリアルにて開催

今年度のテーマは「防災・減災、国土強靱化とインフラDX～建設現場を支える未来の技術～」として、防災・減災、国土強靱化に関する建設技術、それらの施策を効率的に進めるためのデジタル化に関する建設技術の技術展示や新技術・新工法などのオンラインセミナー発表を通じて、広く建設技術を紹介します。

○開催日時：令和4年10月13日（木） 10：00～16：30

令和4年10月14日（金） 9：30～15：30

○開催場所：リアル会場 広島産業会館 西展示館（広島市南区）

オンライン会場URL <https://www.ctfc2022.com/>

○主 催：建設技術フォーラム実行委員会

（事務局：国土交通省中国地方整備局企画部技術管理課）

○実施内容：建設技術の紹介（技術展示、オンラインセミナー発表）、

基調講演（オンライン配信）、オンライン学生交流広場

※13日（木）9：45より開催セレモニーを実施します。

（詳細は添付チラシのとおり）

<問い合わせ先>

《建設技術フォーラム実行委員会 事務局》

国土交通省 中国地方整備局 企画部 技術管理課

082-221-9231（代表）

【担当】

工事品質調整官

やまもと
山本

としひこ
俊彦

（内線3130）

技術管理課 課長補佐

はと
波戸

ひでひろ
秀浩

（内線3313）



基調講演

(オンライン配信)

事前
登録制

講演日時：**10月13日(木)** 13:30～14:30

テーマ：「現場の“楽”は維持管理起点から」
※地域建設業界とインフラDXについてご講演頂きます。

講演者：株式会社EARTHRAIN **緒方 正剛 氏**

※事前登録制ZOOMによる配信です。お申し込みはオンライン会場からお願いします。

■プロフィール

～2002年3月

2002年4月～2005年3月
2005年4月～2013年2月
2013年3月～2021年3月

2021年4月～
同年7月1日～

熊本大学工学部・大学院：博士後期課程修了（博士（工学））
VRを使った施工管理、現在の情報化施工やBIM/CIM、当時はCGやRTAと呼称。
西松建設(株) 福岡県直方市の土工現場でNIEMS（3次元による土工管理システムの開発、3次元設計支援）
オートデスク(株) Civil3D、InfraWorks、Navisworks等、ソリューション支援
（一財）先端建設技術センター BIM/CIM、i-Construction、DX、ロボット・AI、Society5.0、NETIS、無人化施工、自動/自律施工
コマツスマートコンストラクション推進本部 主幹
(株)EARTHRAIN エバンジェリスト (Evangelist：伝道師)

出 展 内 容 リアル出展企業84社



中国地方の社会資本整備を支える新技術
などについて各団体の展示（模型・映像
ほか）に見て、触れて、体験できます。
ぜひ参加してみてください。



■継続教育・学習（CPD、CPDS登録）について



（公社）土木学会、（一社）全国土木施工管理技士会連合会の
プログラム認定を受ける予定です。
●受講証明書は13日(16:30 より)、14日(15:30 より)受付でお渡しします。



■広島駅からお越しの方

路面電車でお越しの方
JR広島駅(南口)から路面電車約10分。
南区役所前で下車。徒歩約1分。



■紙屋町・八丁堀からお越しの方

バスでお越しの方
紙屋町県庁前から広島バス(23番)約15分。
または、八丁堀から広島バス(26番旭町線)約12分。
南区役所前で下車。徒歩約1分。



■広島港(宇品)からお越しの方

路面電車
広島港から路面電車約21分。
南区役所前で下車。徒歩約1分。



■広島空港からお越しの方

バス～路面電車
広島空港からリムジンバス約50分。広島駅
新幹線口下車。JR広島駅南口より路面電車にて
お越し下さい。南区役所前で下車。徒歩約1分。

交通アクセス



●お車で来場の方は、会場の駐車場をご利用ください。
●駐車料金：入場から最初の3時間まで150円/30分。
3時間超は100円/30分、1日の限度額1,900円。

入場
無料

建設 技術 フォーラム 2022 in ちゅうごく

Construction

Technology

FORUM

とき **2022 10/13(木)**
●1日目：10:00～16:30
14(金)
●2日目：9:30～15:30

同時開催
「ひろしま建設
イノベーション2022」
主催／広島県

「防災・減災、国土強靱化とインフラDX」 ～建設現場を支える未来の技術～

防災・減災対策、老朽化対策の取り組み、ICTを活用した新技術

会場 **広島産業会館西展示館**
(広島市南区)

オンライン会場URL
<https://www.ctfc2022.com/>

オンライン会場二次元コードこちらより会場にアクセスしてください

リアル会場&オンライン会場
同時開催



主催／建設技術フォーラム実行委員会

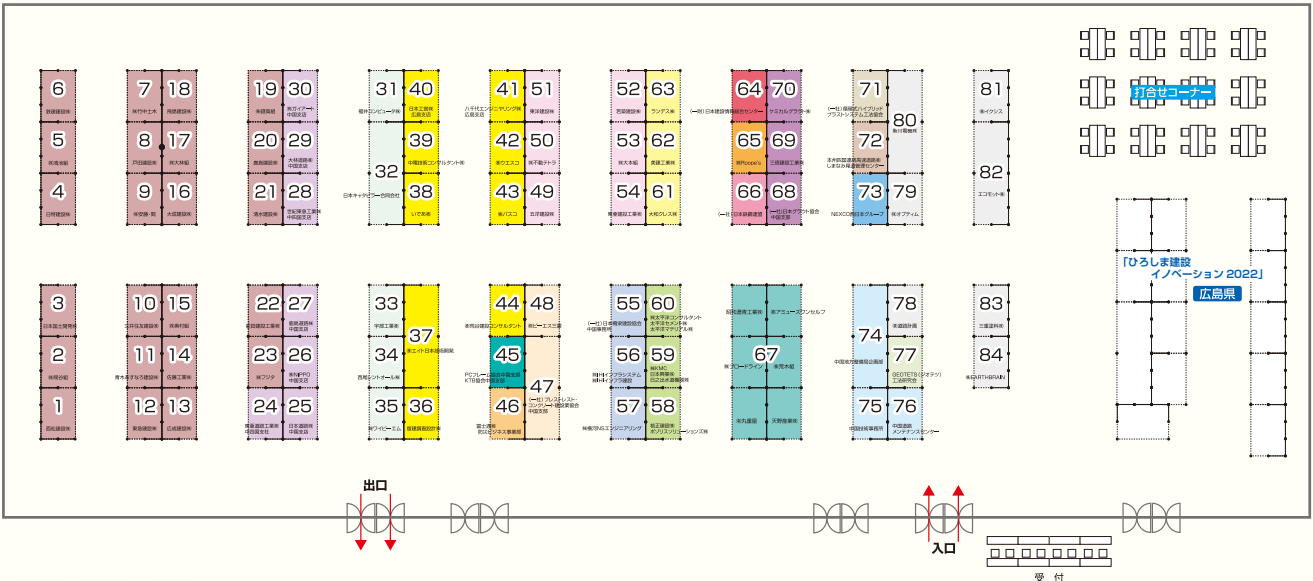
協賛／PCフレーム協会中国支部・KTB協会中国支部、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協中国支部、中国コンクリート製品協会、(一財)橋梁調査会、(一社)建設コンサルタンツ協会中国支部、(公社)全国上下水道コンサルタント協会中国・四国支部、(公社)日本測量協会中国支部、(一社)日本電設工業協会中国支部、(一社)日本道路建設業協会中国支部、(一社)全国道路標識・標示業協会中国支部、(一財)日本建設情報総合センター、(一社)日本建設機械施工協会中国支部、(一社)日本橋梁建設協会、(一社)日本建設業連合会中国支部、(一社)日本埋立浚渫協会中国支部、(公社)土木学会中国支部、(一社)日本グラウト協会中国支部、(一社)中国建設弘済会

※天候不良等により開催中止になる場合があります。その場合は国土交通省中国地方整備局ホームページに掲載します。

お問合せ先
建設技術フォーラム実行委員会事務局

国土交通省中国地方整備局 企画部 技術管理課
広島市中区上八丁堀6-30 TEL. (082) 221-9231 (代)
<http://www.cgr.mlit.go.jp/cginform/syokai/busyo/kikaku/forum/>

会場のご案内



出展者案内

※一部出展者を除き、オンライン出展もあります。

	組織名	出展者名	セールスポイント
1	(一社)日本建設業連合会中国支部	西松建設(株)	OKIPPA & OKIPPA Green センサボックスだけで始められるインフラ監視クラウドシステム
2		(株)熊谷組	無人化施工 VR 技術の開発 ～シンクロアスリート®の無人化施工への適用～
3		日本国土開発(株)	①回転式破碎混合法:建設発生土リサイクル技術 ②ハイブリットエポキシ樹脂:塩害RC構造物の補修材
4		日特建設(株)	「安全・安心な国土作りのための技術」 防災・減災だけでなく、社会資本の維持管理技術もご紹介
5		(株)鴻池組	『鴻池組の建設 ICT 技術』鴻池組の建設 ICT 技術(機械化、自動化技術)の取組みについて紹介します。
6		鉄建建設(株)	AI を活用した「コンクリート打設管理システム」
7		(株)竹中土木	スマートコラム工法・狭隘な条件下で施工可能な液状化対策工法(格子状地盤改良工法)
8		戸田建設(株)	「しやすい C&T 工法」などの道路橋の床版取替技術を中心に紹介します。
9		(株)安藤・間	豪雨・地震の複合災害に備えた盛土強靱化技術 新たな噴射機構により高速施工を実現した W I L L e m 工法
10		三井住友建設(株)	超高耐久橋梁「Dura」シリーズ、ラクカメラ、速検、ロボタラス II、クイック re インパート
11	(一社)日本建設業連合会中国支部	青木あすなる建設(株)	ダイス・ロッド式摩擦ダンパー®を用いた橋梁耐震工法 水陸両用ブルドーザー工法
12		東急建設(株)	トンネル点検・診断システム: iTOREL ボックスカルバートの合理化施工: PPCa ボックスカルバート
13		広成建設(株)	山陽新幹線の施設を短時間で効率的に補修補強する技術や、安全性向上への取り組みを紹介します。
14		佐藤工業(株)	自己充填コンクリートを用いた覆工の自動化・締固めや配管盛替えを不要とする新しい覆工構築システムです。
15		(株)奥村組	奥村組の「5 次元施工シミュレーションシステム」の紹介
16		大成建設(株)	脱炭素化に貢献するコンクリート、既設 RC 床版の接合技術、重機無人化施工、トンネル施工技术
17		(株)大林組	トンネル補修技術、複数建機の自動自立化システム、コンクリート材料など大林組の新しい技術を紹介します。
18		飛鳥建設(株)	『トビシマは、次の未来へ』 ～ 203X 年目指す S X ・ D X ～
19		(株)銭高組	① TUNNEL EYE、② PC 橋梁施工管理システム、③ MR によるコンクリート締固め管理システム
20		鹿島建設(株)	ICT を活用し、少ない人手で施工品質を確保しながら、安全性・生産性の向上を実現する建設現場を実現します。
21	(一社)日本建設機械施工協会中国支部	清水建設(株)	ICT、IoT、AI などの最新技術を活用した次世代型トンネル構築システム
22		前田建設工業(株)	高画質カメラによるインフラ構造物画像診断: RC 構造物点検業務の安全性・効率性が向上
23		(株)フジタ	フジタの“高”環境づくり～最新技術紹介～
24		東亜道路工業(株)中国四国支社	グースアスファルト舗装に代わる樹脂防水一体型アスファルト舗装を御紹介致します。
25		日本道路(株)中国支店	【快適歩走】 歩く人や走る人への足腰の負担を軽減した優しい舗装で居心地のよい空間を創出します。
26		(株)NIPPO 中国支店	ICT、IoT で舗装現場をつなぐ NIPPO の新たなチャレンジ「NIPPO Paving Next」
27		鹿島道路(株)中国支店	IoT・ICT 技術による施工管理の合理化・効率化、アスファルト舗装統合管理システム『KSSL』
28		世紀東急工業(株)中国四国支店	「ストロングファルト」 重交通路線や重量物を扱う工場内の舗装等に適した高強度アスファルト混合物です。
29		大林道路(株)中国支店	高耐久性アスファルト混合物「タフアスコン」 耐流動性・耐油性・ねじり抵抗性を飛躍的に向上させた製品です
30		(株)ガイアート中国支店	凍結抑制、事故対策舗装のフル・ファンクション・ペーブ(多機能性舗装)工期短縮の高強度 PRC 版
31	(一社)日本建設機械施工協会中国支部	福井コンピュータ(株)	施工における様々な 3 次元データやクラウドを活用した連携共有まで、業務全体の生産性向上をご提案します
32		日本キャタピラー合同会社	キャタピラー D X ソリューション /CAT 最新建機は機能拡張システム搭載で、あらゆる現場に対応可能です。
33		宇部工業(株)	水陸両用小形作業船(コンバー) ポンプ浚渫・レーキ作業・バックホウ浚渫・浮遊物処理・草刈りが可能
34		西尾レントオール(株)	(現場環境の遠隔管理と耐震化施工) 計測データの遠隔管理とインフラ耐震化施工に必須な商品の提案。
35		(株)ワイビーエム	建設機械メーカーが提案する I C T 地盤改良工 Y e r N a v i 杭芯位置誘導システム・ G I シリーズ
36		復建調査設計(株)	「安心安全なまちづくり・社会インフラ整備」におけるデジタルツインの利活用と発展に向けた取り組みを紹介
37		(株)エイト日本技術開発	インフラ D X の実践～ E J E C からの提案: インフラ調査・点検へのドローン等の活用技術の紹介他
38		いであ(株)	近年、注目の「インフラ DX に活用可能な可視化技術」(VR・AR)、「いであ」新技術をご紹介します。
39		中電技術コンサルタント(株)	技術を磨き、技術を競い、技術で選ばれる「技術創造企業」
40		日本工営(株)広島支店	防災プラットフォーム「防すけ」 浸水情報をリアルタイムに発信!既存の防災システムとクラウド連携も可能!
41	(一社)建設コンサルタント協会中国支部	八千代エンジニアリング(株)広島支店	インフラ DX に寄与する TRAVIC (交通解析自動化システム) /RIAD (河川氷表面判別システム)
42		(株)ウエスコ	インフラ D X を推進する 陸・川・空の 3 次元計測技術と 3 次元設計・ C I M 関連分野への展開
43		(株)パスコ	IoT インフラ遠隔監視サービス「Infra Eye」・グリーンレーザースキャナ「TDOTGREEN」
44		(株)荒谷建設コンサルタント	インフラ DX の取組みとして、三次元データ・ドローン・AI の活用や三次元計測等の空間情報技術のご紹介
45		PC フレーム協会中国支部・KTB 協会中国支部	近年多発する災害防止に PC フレーム協会・KTB アンカー工法・スーパーメタルフレーム工法
46		(一社)建設電気技術協会中国支部	社会インフラの維持管理システム ～ BIM/CIM を活用した構造物点検～
47		(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会中国支部	「地域に貢献する PC 技術」高度化するニーズに応えながら PC 事業普及の基盤づくりに貢献する
48		(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会中国支部	「ピーエス三菱のメンテナンス技術」:多様なニーズに合わせて社会インフラの長寿命化を実現する技術です
		(株)ピーエス三菱	

49	(一社)日本埋立浚渫協会中国支部	五洋建設(株)	(インフラ DX を活用した事例) BIM/CIM モデルと VR 技術を融合させたインフラ整備工事の臨場体験
50		(株)不動デトラ	消波・被覆ブロックの環境共生機能と地盤改良に関する最新技術について紹介します
51		東洋建設(株)	サクシオンバケット基礎 環境負荷を低減し、洋上風力発電のコストダウンとともに適用箇所を拡大する新技術
52		若築建設(株)	ナローマルチビームソナー搭載自律航行式の R / C ボートの紹介。無線による遠隔操作で測量可能な装置です。
53		(株)大本組	橋梁基礎と大深度立坑、雨水ポンプ場等、信頼性の高い地下構造物で国土強靱化、治水対策に貢献しています。
54		東亜建設工業(株)	海上工事で働く作業船や機械を、VR シミュレーターを使用した操縦体験などで紹介します。
55		(一社)日本橋梁建設協会中国事務所	“技術でつなぐ 100 年橋梁” ～点検・補修で未来へ継承～
56		(株) I H インフラシステム、(株) I H インフラ建設	橋梁マネジメントサポートシステム「B M S S」～橋梁維持管理業務をトータルでカバー!!～
57		(株)横河 N S エンジニアリング	耐久性向上を目指した伸縮装置「S E F ジョイント 1 0 0」新設、既設橋梁の更新技術や耐震の橋梁関連製品
58		格正建設(株)、ボゾリスソリューションズ(株)	
59	(一社)リベア会	(株) KMC、日本興業(株)、日之出水機器(株)	土木・建築構造物の調査・診断から補修補強にいたるまで、ワンストップで提供するリベア会員各社の技術
60		(株)太平洋コンサルタント、太平洋セメント(株)、太平洋マテリアル(株)	
61		大和クレス(株)	バクテリアがコンクリートのひび割れを治す自己治癒コンクリート「バジリスク」
62		美建工業(株)	広島県制定土木構造物標準設計図集と同形状のハーフプレキャスト防護柵基礎「積ガード」のご紹介
63		ランデス(株)	防災・減災対応プレキャスト製品 災害から早期復旧できる護岸製品と緊急時の避難ルートを確認する張出車道
64		(一財)日本建設情報総合センター	JACIC クラウドで現場の DX マネジメントを加速します
65		(一財)日本建設情報総合センター	
66		(株)Roopce's	近接困難箇所における特殊高所技術の活用を紹介します。
67		(一社)日本鉄鋼連盟	地震・津波・豪雨などの自然災害から国土を守る、国土強靱化に資する鋼構造技術・工法のご紹介
68		昭和靑色工業(株)	アスファルトで世界を「快適」にをキャッチフレーズに道路舗装ビジネスの川上から川下まで一貫した事業展開
69	(一社)日本グラウト協会 中国支部	(株)ブロードライン	高エネルギー吸収型落石防護柵を含めた法面防災事業において産学連携で取り組み研究開発内容を紹介しす
70		(有)丸重屋	丸重屋の D X ・ドローンを始めとしたちょっと先の D X を活用し、社会基盤を支えるサポートをしています。
71		天野産業(株)	産官学(岡山大学)連携による ICT 技術を駆使した社内の取組みを紹介します
72		(株)荒木組	3 次元設計データ作成から出来形管理まで、ICT 技術内製化の取り組みにも挑戦中
73		(株)アミューズワンセルブ	陸上・水中ドローン他による 3 次元データを活用した防災・減災 DX を推進する産官学連携の事例を紹介します
74		(一社)日本グラウト協会中国支部	地盤安定及び地下水の流動防止に最適な注入工法の研究開発と普及啓蒙、技術向上を図り、社会環境整備に貢献
75		三信建設工業(株)	地下を支え、山を押さえ、液状化を防ぐ地盤処理技術。様々な事業分野の課題解決に取り組んでいます。
76		ケミカルグラウト(株)	地球環境に優しい新地盤凍結工法 ICECRETE (アískりート)
77		(一社)循環式ハイブリッドプラストシステム工法協会	循環式ハイブリッドプラストシステム工法 金属系の研削材を回収・再利用するプラスト工法
78		本州四国連絡高速道路(株)	本州四国連絡高速道路(株)しまみ尾道管理センター「本四長大橋の維持管理技術」本四長大橋の建設記録と 200 年以上利用される橋を目指す長大橋の維持管理技術の紹介
79	NEXCO 西日本グループ	西日本高速道路(株)中国支社、西日本高速道路エンジニアリング中国(株)、西日本高速道路ファシリティーズ(株)、西日本高速道路メンテナンス中国(株)	N E X C O 西日本グループにおける防災に向けた取り組みや、高速道路の維持管理・点検技術の紹介。
80		中国地方整備局企画部	中国地方整備局の推進する『インフラ D X』の取り組みを紹介
81		中国地方整備局企画部	中国地方整備局の T E C - F O R C E 活動状況の紹介
82		中国技術事務所	中国技術事務所 中国技術事務所の活動内容説明、特には DX 推進センターとして、今後の活動予定等について紹介をします。
83		中国道路メンテナンスセンター	V R を活用した橋梁点検講習ツール～インフラ D X による自治体支援～
84		協同組合 Masters	安心して鋼矢板を引抜けるオンラインワン工法。GEOTETS(ジオテツ=土留部材引抜同時充填)工法
85		GEOTETS(ジオテツ)工法研究会	ビュール: 地上作業で設置可能な高所カメラ、さまざまな交通調査に活用、ライブ配信・AI 判読にも対応
86		(株)道路計画	【国内初】国土交通省の出来形管理要領に準拠した 3 次元測量アプリ「OPTIM Geo Scan」
87		(株)オプティム	地中変位計とワイヤレス低周波加速度・傾斜計により、維持管理に対する省力化・コスト低減を実現させます。インフラ点検を効率化・省力化するために、ドローンや無線技術を活用したソリューションを提供します。
88		新川電機(株)	社会インフラ向け DigitalTwinSolution インフラ向けロボット / A I / A R / 3 D
89	その他	(株)イクシス	現場の DX 支援ソリューション「現場ロイド」。AI、IoT、XR 等を用いた共同開発事例も多数。
90		エコモット(株)	長寿命化修繕計画による新技術の活用 & 費用削減 鋳鉄換型防食塗装 アースコート防錆・塗装システム
91		三重塗料(株)	LANDLOG プラットフォーム (QS-210052-A) を通じた建設業界の課題解決事例のご紹介
92		(株)EARTHBRAIN	

出展者(オンラインのみ)

	組織名	出展者名	セールスポイント
1	(一社)日本道路建設業協会中国支部	大成ロテック(株)中国支社	耐久性が高く舗装の長寿命化が図れる「T R 2 0 0 S」
2	(一財)橋梁調査会	(一財)橋梁調査会	橋梁の長寿命化に向けた「橋梁の点検と診断事業」によるメンテナンスサイクルへの取組みについて
3	(一社)日本埋立浚渫協会中国支部	(株)本間組	CIM モデル導入による排砂管敷設工事の生産性向上技術(CIM モデルによる照査・計画作業の省力化)
4	(一社)建設電気技術協会中国支部	三菱電機(株)中国支社	地形状況監視システム:画像・3D 点群データ及び自動解析技術を活用し、地形状況を安全・迅速に定量把握。
5	(一社)建設電気技術協会中国支部	東芝インフラシステムズ(株)	DAS (Distributed Antenna System) 光ケーブルを用いてローカル 5 G 無線分散
6	(一社)建設電気技術協会中国支部	星和電機(株)	(安全・安心)脱炭素社会に沿った新たな照明システム)直流給電方式による LED 照明・サイン照明システム
7	中国コンクリート製品協会	(株)イズコン	残置型枠ブロック「NPC マリンフォーム」従来の鋼製型枠に比べ作業環境の改善と工期短縮を図ります。
8	その他	ムネカタインダストリアルマシナリー(株)	トンネル・橋梁などの新設時や補修・補強工事等で品質向上・省人化・ICT に役立つこれまでなかった新製品

セミナー発表(オンライン会場)

	発表者名	発表テーマ		発表者名	発表テーマ
1	大成建設(株)	建設現場のDXを推進する、デジタル技術を活用した現場管理システム「T-iDigital Field」	6	佐藤工業(株)	自己充填コンクリートを用いた覆工の自動化・締固めや配管盛替えを不要とする新しい覆工構築システムです。
2	日特建設(株)	「安全・安心な国土作りのための技術」 防災・減災だけでなく、社会資本の維持管理技術もご紹介	7	中電技術コンサルタント(株)	建設 D X に関する新技術のご紹介
3	(株)竹中土木	スマートコラム工法・狭隘な条件下で施工可能な液状化対策工法(格子状地盤改良工法)	8	(株)ワイビーエム	Y e r N a v i 杭芯位置誘導システム 建設機械メーカーが提案する I C T 地盤改良工
4	青木あすなる建設(株)	ダイス・ロッド式摩擦ダンパー®を用いた橋梁耐震工法	9	(一社)日本鉄鋼連盟	国土強靱化に資する鋼材を用いた河川堤防補強技術について
5	東急建設(株)	トンネル全断面点検・診断システム:iTOREL(アイトーレール)	10	(一財)日本建設情報総合センター	DX時代の新たなマネジメント
			11	ランデス(株)	防災・減災対応プレキャスト製品 災害から早期復旧できる護岸製品と緊急時の避難ルートを確認する張出車道